

質爲名

〔成形圖說農事〕麻須 凡俗米を一斗に、一より十まで、

ハカル  
合一斗云、口三寸八厘七毛、深一寸七分一毛なり。半量即五合量なり。一升の半故に云、口四寸深二寸八厘なり。或は深二寸六分六厘、按に令の時に束稻春得米。

小量即合なり。口二寸三分、深一寸二分二厘餘、小量に三あり。一合量は漢の小半量即二合五勺量なり。或は之を

合一斗云、口三寸五厘深一寸八分とする者は非也。半量即五合量なり。一升の半故に云、口四寸深二寸八厘なり。或は深二寸六分六厘、按に令の時に束稻春得米。七升量

升九分深二寸七分五升量

五升量

五升量

五升量

五升量

〔古今要覽器財〕銅升

〔好古小錄下〕法隆寺銅斗

斗八寸三分深一尺四分重三貫三百目餘銘曰重

大廿六斤受一石四斗

七尺

永仁年中、大山庄地頭年貢注進の内に、銅升の定といふこと見えた。この銅升が法隆寺に傳はる銅升の類のものにや、たゞしは趙宋の銅升にや。

### 大山庄地頭請所御年貢支配事

#### 合貳佰斛内定銅升

〔古量考〕木升。同上(法隆寺所藏)木もて造る。おひさしの箱にて、ふち方玖寸漆分、深參寸漆分、今の升にて伍升參合漆勾零壹撮入ル。

〔東大寺大佛殿御常燈料田畠記録〕田數所當等事

#### 一段猪口

#### 本地子六斗

作松太郎

亡年三作半シテ一分取之、二分チモテ庄役チ勤テ百姓取之、○中略

#### 一段鳥羽

#### 本地子六斗五升

作小法禰宜北

御門

一段アマ

#### 本地子七斗

作權太郎

斗一升四合本升納之、歲末小豆二升四合、他所公事無、仍七